

市民協働によるまちづくり

この特集は、企業と市民活動団体の連携による「まちづくり」を進めるために開催した座談会の内容を紹介します。

市民協働のイメージ図

市民・市民活動団体・企業・市が力を合わせる
(知恵を出し行動する)

市民・市民活動団体

【おもな役割】
地域社会に関心を持つ、行政活動に参加、自らできることを考えて行動
【メリット】
コミュニティの結束、具体的成果の満足、自己実践能力の向上、郷土への誇りと愛着

まちの発展
住みよさの実感
誇りをもてる
まちの実感

企業

【おもな役割】
市民公益活動の理解・協力・支援、市民協働への理解と推進
【メリット】
企業イメージの向上、ビジネス機会の増大、地域貢献・慈善事業、従業員の活性化

行政(市)

【おもな役割】
情報の提供・共有、市民公益活動への助成、市民公益活動の場の提供
【メリット】
施策の推進、地域づくりの推進、ボランティアの活性化、職員の資質向上

みんなでまちづくりを進める

市民協働によるまちづくり

「市民協働」とは、市民、企業、市など、千歳市に関する「みんな」で千歳を住み良いまちにするために協力することです。「市民協働のまちづくり」を進めるために、市民の皆さんが広く「まちづくり」に参加できるよう、市の政策や事業などの計画に携わる機会を充実することや、企業の社会貢献活動を促進することが重要です。市民や市民活動団体は、市と協働する機会や制度はありますが、企業と協働する機会は、少ないのが現状です。企業と市民活動団体に対し、「企業と市民活動団体の連携・協力に関するアンケート調査」を実施したところ、双方とも事業の連携に前向きであり、連携にあたっては「市の仲介」を求めていました。このことから、市は、企業と市民活動団体が連携して、まちづくりを進められるような仕組みづくりを検討しています。

企業と市民活動団体の連携・協力に関するアンケート調査

- このアンケートは、「企業と市民活動団体との連携によるまちづくり支援」の検討にあたり、企業・市民活動団体の現状や課題を把握するため、昨年度に実施しました。
- 対象は、工業クラブ会員企業（104社）と市民公益活動登録団体（34団体）です。
- 企業は29社、市民公益活動登録団体は30団体から回答がありました。
- （※以下のグラフは、企業と市民公益活動登録団体の数を表しています。）

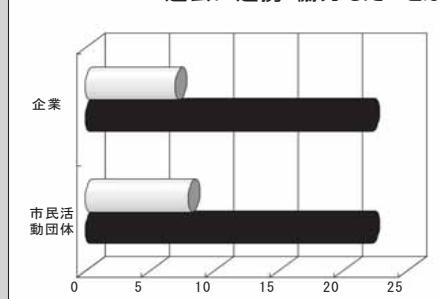
1-1 過去に、企業と市民活動団体が連携・協力したことはありますか？

- 企業は、約4社に1社が、市民活動団体は、約4団体に1団体が連携・協力をしています。

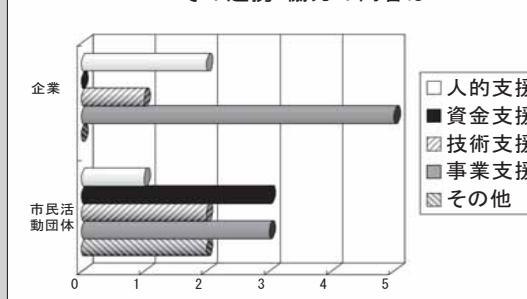
1-2 その連携・協力の内容は、どのようなものですか？

- 企業は、事業支援、人的支援、技術支援の順に多く、市民活動団体は、資金支援・事業支援、技術支援の順に多くなっています。

1-1 過去に連携・協力したことは



1-2 その連携・協力の内容は



2-1 企業と市民活動団体は、今後も連携・協力を希望しますか？

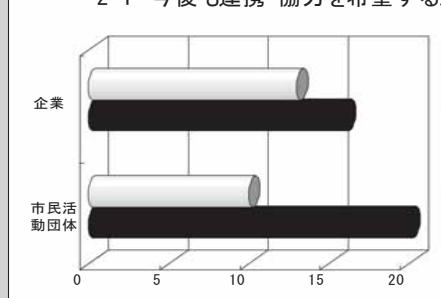
- 約50%の企業は、市民活動団体との連携・協力に興味を持っています。市民活動団体も、約30%が企業との連携・協力を希望しています。

2-2 どのような内容の連携・協力を希望しますか？

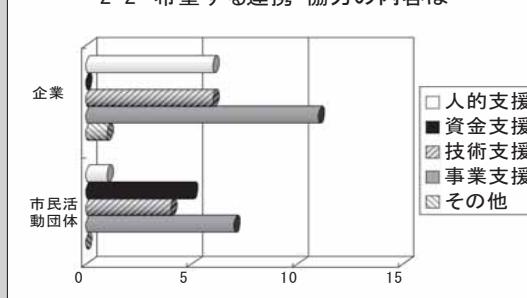
- 企業は、事業支援、人的支援・技術支援の順に多く、市民活動団体は、事業支援、資金支援、技術支援の順に多くなっています。

また、双方が持つ技術や知識に対する連携を希望しています。

2-1 今後も連携・協力を希望するか



2-2 希望する連携・協力の内容は



3-1 連携・協力を検討するとき、市に求めることがありますか？

- 企業は、約4社に1社が、市民活動団体は、半数以上が市に対して支援を求めています。

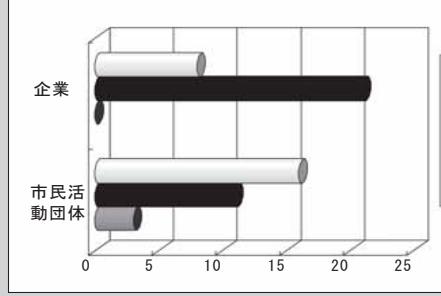
3-2 どのような内容の支援を市に求めていますか？

- 約70%の企業と約20%の市民活動団体は、市に仲介を求めています。

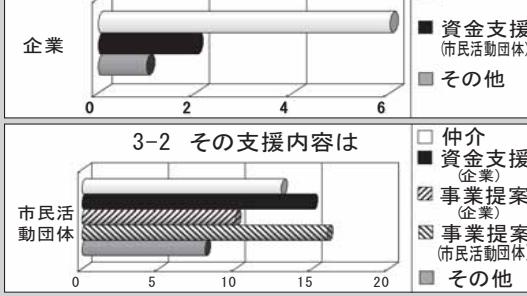
企業は、約4社に1社が市民活動団体に対する市の資金支援を求めています。

市民活動団体は、約4団体に1団体が企業の資金支援を求めています。

3-1 市に求めるることは



3-2 その支援内容は



3-2 その支援内容は

